

質問 回 答 書

2024年3月13日

「(案件名)トルコ国アグロインダストリー競争力強化プロジェクト」

(公示日:2024年3月6日/調達管理番号:23a00944)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	【2】第3条2.(3)P11	「本事業では既に成功を収めている大企業だけでなく、中小企業を巻き込みながら」とありますが、大企業もプロジェクトの対象に含むという理解で宜しいでしょうか？	企業の規模にかかる条件は設けておりませんが、開発計画調査型技術協力として、カウンターパート機関が課題解決のために誰を対象に、どのようなサービスを展開するか、という視点で対象を考えることとなります。
2	【2】第4条2.(1)①P13	「アグロインダストリー分野」、という時に本件プロジェクトで対象とするのは、生産・加工・流通・販売までを含むフードバリューチェーン関連産業という理解で宜しいでしょうか？	全体を含んでいただいて結構です。ただし、あくまで地域開発庁をカウンターパートとすることを念頭に、実際の活動にあたっては実現できることと出来ないことを仕分けして考えることが重要です。
3	【2】第4条2.(1)②P13	パイロットプロジェクトのアクションプラン案(ケース・スタディの解答例集)とありますが、アクションプラン案の内容について具体的にご教示頂けないでしょうか。何のケーススタディなのかが分かりませんでした。また、何に対する解答例なのでしょう？	アクションプラン案は、マーケティング、商品開発、ブランディング、流通販売等について中小企業の知識・能力向上を目的に、ケース・スタディで明らかとなった方向性に依拠して作成いただきます。具体的な内容は、カウンターパート機関や企業と協議の上で作成いただくこととなります。ケース・スタディでは、パイロット企業と対象地域の成功例や課題を収集し、分析、評価したうえで、地域としての課題解決アプローチを検討していただきます。ケース・スタディで立案されたアプローチの実施という意味で、「解答」という言葉が使われております。

4	<p>詳細計画策定調査報告書 (p.24、3.3.1.3) プロジェクトオフィスのスペース について</p>	<p>シルクロード地区のプロジェクトオフィスの候補地について Sanliurfa とあります。しかし、Sanliurfa はカラジャダー地区の都市であり、実際には Gaziantep か Adiyaman を拠点に活動することになるでしょうか。</p>	<p>最新情報として、シャンルウルファ、マラティヤ、オスマニエではオフィスの提供が可能です。それらは、R/D 記載の通り什器付きの見通しですが、什器の追加購入を想定し、定額計上として 200,000 円を追加修正します。また、その他の地域に拠点を設置する場合は、(カウンターパート機関との相談となりますが、)上限金額に含めて見積もり願います。</p>
5	<p>p.14 テストマーケティングについて</p>	<p>「テストマーケティングの一環として、トルコ国内における復興フェアの開催も検討する」と書かれており、これとは別に国外等でのテストマーケティング実施の提案も必要と考えています。 EU マーケット視察、復興フェアとテストマーケティング資材作成については定額計上となっていますが、国外等でのテストマーケティングの実施を提案する場合は一般業務費への見積もり計上となりますでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
6	<p>p.24 トルコ国側のインプットについて</p>	<p>トルコ国側のインプットの②に「現地経費の提供」とありますが、こちらは主にどのような経費を想定されているのでしょうか。</p>	<p>R/Dに記載の通り、案件実施のために設置する事務所の水道や光熱費、カウンターパートの担当者の近距離旅行に伴う日当およびガソリン代、JCC のための会議費等が想定されます。</p>
7	<p>p.17 ファイナルレポートについて</p>	<p>日本語、トルコ語、英語版のファイナルレポートについて、それぞれ製本版を提出とのことですが、こちらはくみ製本の提出という理解でよいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。 また、印刷・製本の仕様については、「コンサルタント等契約における 報告書の印刷・電子媒体に関するガイドライン」を参照願います。 注: コンサルタント等契約における 報告書の印刷・電子媒体に関する ガイドライン:</p>

8	p.37-38 定額計上について	EU マーケット視察について、定額計上に含まれる費用は参加者の出張旅費のみという理解でしょうか。航空賃や車両は別途本見積りに計上する必要がありますか。	P.13 脚注5 のとおり、参加する企業側には一定の旅費を負担いただくことを想定しています。具体的には航空賃等の渡航費用を負担いただき、その他の現地で発生する費用(宿泊費、交通費、一部食事代等)をプロジェクト負担として、定額計上いただきます。ただし、プロジェクト終了後にカウンターパート機関が独自に活動を展開することも想定し、必要に応じ企業からの負担分を増やすこともあり得ます。なお、本定額計上には参加企業に対するプロジェクトの負担分に加え、カウンターパートの旅費(航空賃・宿泊費・食費)も含まれます。定額計上を越えた活動・経費負担を想定する場合は、別見積りに計上ください。また、本定額計上を 7,500,000 円から、7,300,000 円に減額修正します。
9	p.13 活動 1-8 対象企業のケーススタディについて	ケーススタディとは、アクションプラン作成方法をワークショップで習得するための事例でしょうか。または過去の取り組みを整理して教訓を抽出するためのものでしょうか。	活動 1-8 では、活動 1-7 にて分析した結果(SWOT等)を基に、成功例と課題の双方を抽出してもらいますので、ご質問いただいた後者(過去の取り組みを整理して教訓を抽出するためのもの)に当たります。なお、別紙案件概要表(P.27)にて、「1-8. 対象企業のケース・スタディを作成し実施する」と書かれていますが、「1-8. 対象企業のケース・スタディを作成する」に訂正します。
10	p.14 活動 3-1 と 3-4 について	活動 3-1 のアクションプランの実行と活動 3-4 テストマーケティングの違いは何でしょうか。テストマーケティングとは、アクションプランを実施した効果を検証するためのもの、という位置づけでしょうか。	ご理解のとおりです。

11	企画競争説明書 P13 (1)プロジェクトの活動に関する業務 ② ステージ2に関わる活動	パイロットプロジェクトの数について、4地域で「約16」と示されている一方で、R/DのAnnex 2では「12 at maximum」と記載されています。いずれを優先して計画すればよいでしょうか。	R/Dを優先させ、上限を12としますが、予算の都合からより少ない数になる可能性があります。具体的には案件実施中に先方と協議して決めます。
12	企画競争説明書 P31 別紙 共通業務内容	本件業務(開発計画調査型技術協力)の共通業務として示されている内容が、作成すべき報告書(P16~)と一致していません。共通業務の内容を改めてご確認いただき、ご提示いただけないでしょうか。	別紙 共通業務内容の「1. 業務計画書およびワークプランの作成/改定」に記載されているワークプランとは、本業務の業務計画書に該当します。「3. 成果指標のモニタリング及びモニタリングための報告書作成」で述べられている「モニタリングのための報告書」は、P16~に記載されているインセプションレポートやプログレスレポートを指しています。
13	該当箇所なし	貴機構トルコ事務所のナショナルスタッフの出張時のトルコ国内旅費規定額(日当・宿泊費・交通費)をご教示いただけますでしょうか。	ナショナルスタッフの日当は、おおよそ4,000-5,000円、宿泊費は13,000~16,000円で、スタッフのレベルによって上下します。交通費(レンタカー)は、アンカラ市内(100km以内)を例にすると、普通乗用車が2万円、ワゴン車で3万3千円程度ですが、事業実施の南東部の車両手配は西部より高額となる傾向があり、また本案件は、県越えの移動が想定されます。
14	企画競争説明書 P37 (4)定額計上について	現地セミナー開催費が定額計上されていますが、これには「活動2-2」や「活動3-3」記載のワークショップも含まれますでしょうか。もし含まれない場合、上記のワークショップで想定される規模(日数・参加人数など)があればご教示ください。	「セミナー開催費」としてはありますが、ご理解のとおり活動2-2、活動3-3のワークショップと活動4-3のセミナーが対象となります。

15	全般	詳細計画策定調査において、本件対象地域が TRC1 と TRC2 の 2 地域から、TRB1 と TR63 を含む 4 地域に拡大されたと理解しますが、その経緯や理由はいかがだったのでしょうか。	要請から案件立ち上げまで時間が経ち、四囲の状況の変化(2023年2月の地震等)から追加を協議した結果です。
16	企画競争説明書 P13 ②ステージ2に関わる活動について	活動 2-1 の説明内で、4 地域で計約 16 の中小企業をパイロットプロジェクトのアクションプラン案を作成するとあります。一方で、R/D Annex 2 にはパイロットプロジェクトの数は最大 12 件(シルクロード DA・カラジャダーDA:各 4 件、フラト DA・東地中海 DA:各 2 件)と記載があります。トルコ政府側はパイロットプロジェクト数を 12 件と認識していると思われるため、12 件ということよろしいでしょうか？また、本質問に回答いただく数量をもとに、各開発庁または県への配分数の案をコンサルタントが提案することは可能でしょうか？	回答 11 のとおり。
17	企画競争説明書 P35 (5)対象国の便宜供与	執務スペースおよび家具について便宜供与が「有」としていただいております。本件業務におけるベースとなるコンサルタントの執務スペースの場所はどちらを想定されていますでしょうか。	回答 4 のとおり。
18	P24 3.事業概要、(5)インプット	業務主任者/地域戦略策定、となっていますが、P33 1.(3)において、「※ 業務主任者が担う担当専門分野を提案してください。」との記載があります。業務主任者が評価される類似業務の分野は「地域戦略策定」と理	業務主任者が担う担当専門分野については、JICA 側から提示しないこととなっております。本件については、誤って「地域戦略策定」と記載しましたが、削除しますので、ご自由に提案願います。提案いただきました分野について、業務の分野(内

		解すればよいでしょうか。もしくは、提案者が提案する分野が評価の対象になるのでしょうか。	容)との関連性・類似性から評価します。
19	P13 第4条2(1)② EU マーケット視察	本邦研修については、想定規模の記述がありますが、EU マーケット視察については、どの程度の規模(回数、日数、参加者数等)を想定していますでしょうか。	回答 8 のとおり。
20	P14 第4条2(1)③パイロットプロジェクト	パイロットプロジェクトの実施期間はどの程度の長さを想定しておられますでしょうか？	本案件は 2026 年 12 月までに現地活動を終える想定です。パイロットプロジェクトの内容によっても必要な期間が異なると思われ、現時点で長さの指定は難しいですが、パイロットプロジェクト向けの予算も勘案し、ご提案ください。

<参考>定額計上 修正版

(定額計上分 64,817,000円(税抜) 【上限額】 262,379,000円(税抜) は変更なし)

	対象とする経費	該当箇所	金額(税抜)	金額に含まれる範囲	費用項目
1	現地セミナー開催費	第2章 特記仕様書案 4. 業務の内容ステージ2に関する活動	7,200,000円	参加者の出張旅費(交通費)、会場借上費)	一般業務費 セミナー等 実施関連費
2	復興フェア	第2章 特記	3,000,000円	参加者の出張旅費	一般業務費

		仕様書案 4. 業務の内容ス テージ3に関 わる活動		(交通費)、会場借 上費	セミナー等 実施関連費
3	パイロット事 業テストマー ケティング資 材作成		10,000,000 円	再委託	再委託
4 追加	事務所の什器		200,000 円		一般業務費 事務所関連費
5	資料等翻訳費 (土⇔英)		720,000 円		一般業務費
6	本邦研修（本 邦招へい）に かかる経費		3,397,000 円 33,000,000 円	直接経費と受入期 間の業務人月（地 域中小企業振興分 野、3号を想定）1 人月の報酬	報酬 国内業務費
7	EUマーケット 視察	第2章 特記 仕様書案 4. 業務の内容ス テージ2に関 わる活動	7,300,000 円	参加者（同行者、カ ウンターパート、 一般参加者）の出 張旅費	一般業務費

|

以上